

令和7年度 森と木のクリエイター科 課題研究公表会

月日	曜日	開始時刻	～	終了時刻	タイトル/次第	氏名
2月17日	火	9:00	～	9:02	開会のことば【司会】	
		9:02	～	9:07	学長あいさつ【学長】	
		9:07	～	9:10	公表会進行の説明【司会】	
		9:10	～	9:35	大工の見える化 大工体験ワークショップとSNS発信を通して	石岡 大樹
		9:35	～	10:00	自主制作木質ボードによる建材活用の可能性 ①国産広葉樹パルプ材 ②針葉樹おがくず・樹皮	葛山 直子
		10:00	～	10:25	広葉樹の利用促進に向けた、小規模太陽熱木材乾燥庫の環境設計手法と運用最適化	銭 鼎現
		10:25	～	10:40	休憩	
		10:40	～	11:05	中大規模木造建築における接合部モデルを考える －半剛接合による接合部設計のすすめ－	増岡 卓弥
		11:05	～	11:30	間伐ボランティアによる木材利用の関係人口創出	三宅 徹
		11:30	～	11:55	【加子母の経木】存続の意義と可能性を探る	浅野 由佳梨
		11:55	～	12:55	昼食	
		12:55	～	13:20	CNCによるプロトタイピングの可能性	安達 彩佳
		13:20	～	13:45	木作品創作による地域貢献の可能性 －「聴き削り」による「きのこけし」での「縁」の起こし方を探る－	橋 明広
		13:45	～	14:10	鹿毛皮から家具を製作し人と森をつなぐ	ベケット リンド
		14:10	～	14:25	休憩	
		14:25	～	14:50	美濃市産広葉樹の木工利用と地域材流通スキームの提案	見世 健太
		14:50	～	15:15	森林空間を活用したデジタルデトックスキャンプの可能性を探る	伊藤 悠貴
		15:15	～	15:40	自然と共に「私に還る」 －五感・描写・対話がひらく回復のプロセス－	石岡 美優
		15:40	～	16:05	幸せな森の風景をつくる －森林美学から考える、人と森と暮らしをつなげる道(エトス)－	上田 博文
		16:05	～	16:20	休憩	
16:20	～	16:50	総評【学長】			
16:50	～	16:55	1日目 閉会のことば【司会】			

月日	曜日	開始時刻	～	終了時刻	タイトル/次第	氏名
2月18日	水	9:00	～	9:05	公表会進行の説明【司会】	
		9:05	～	9:30	地域密着型自然学校「ノーム自然環境教育事務所」の新規事業の可能性を探る	坂本 環
		9:30	～	9:55	しなやかな関係の輪を広めるために	森田 水加穂
		9:55	～	10:20	持続可能な森のようちえんの開園を目指して －HANAの森を舞台にした1年間の実践記録－	山本 佳穂
		10:20	～	10:35	休憩	
		10:35	～	11:00	リモートセンシングによる広葉樹林の樹種識別方法の検討	田中 裕子
		11:00	～	11:25	ヒノキ枝材の材質とその活用について	米澤 翼
		11:25	～	11:50	架線集材における架設手順書の作成	渡邊 久美子
		11:50	～	12:10	総評【学長】	
		12:10	～	12:15	閉会のことば【教務委員長】	

発表20分、質疑5分 [1鈴 18分][2鈴 20分(発表時間満了)][3鈴 25分(質疑応答時間満了 必要に応じて)]